

もみじ谷 紅葉と史跡の水沢をあるく

開催日：12月3日（日）終了

朝はめっきりと冷え込み、開催地の水沢は霜で真っ白でした。

午前10時、近鉄四日市駅からバスで参加した約50名と、現地へ自家用車等での参加者20数名が、星の広場に合流して早速開会式が行われました。

佐藤会長よりコースの説明、史跡の解説をお願いした地元郷土史研究を手がける3名の方を紹介後、茶畑の中からウォーク開始です。

きれいに晴れ上がった茶畑越しに、四日市、鈴鹿市街、伊勢湾が見事にきらめいて遠くは神島、渥美半島まで望むことが出来ました。

星の広場よりウォーク開始→もみじ谷こうみじや→光明寺跡くわうみやうじ→冠山茶の木原かんざんちやのきのはら(11:00)→寺里神明社跡てらさとしんめいやしる→自由散策・歌碑・瀬戸用水見学・昼食等→宮妻口(12:00)→(バス乗車)あしみだじんじや→足見田神社へ(解散/水沢市民センターよりバス乗車(13:00)～近鉄四日市駅へ)

星の広場で開会式



足取りも軽やか。もみじ谷に向かう



遠くに伊勢湾が望める茶産地水沢



堤恵さんの解説に聞き入る参加者。南北朝時代には、この地も栄華を誇っていたという（光明寺跡）



水沢茶の発祥地。冠山茶の木原（四日市市指定史跡）



風光明媚なもみじ谷は、その昔から文人墨客が数多く訪れ数々の名句がが残されている

もみじ谷はかつて菰野藩主が巡視を兼ねて、春秋にはこの景勝地に遊山したと言われている



足見田神社・・・宮司さんによる説明



次回開催：歩いてみよう 八風街道 2月3日(土)